

きずな KOBÉ

第17号
TAKE FREE
January 2018



この情報誌は赤い羽根
共同募金配分金を受け
て発行しています。

特集1

ひとつの暮らしを支える
7分間のボランティア

特集2

私たちだって地域の一員
企業・法人の地域貢献活動

私もやっと一よ！福祉のまちづくり

神戸アジア食堂バル SALA 黒田尚子さん

美味しい！かわいい！福祉のお店

ベーカリーカフェ 森のおうち

催し・イベント情報 ほか

読者のお声&プレゼント



表紙写真：神戸・灘おもちゃの病院

壊れたり、動かなくなってしまったおもちゃを“治して”くれる病院です。
おもちゃを診る「おもちゃドクター」は、みんな地域のボランティア。
大切なおもちゃが元気に退院したときの子どもたちの笑顔が嬉しくて、
一所懸命治療しています。
市内では神戸ハーバーランド umie をはじめ、商業施設を中心に活動中。
おもちゃドクターになりたいという人も随時募集しています！



“ボランティア”という言葉から、みなさんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。

被災地支援や環境保全など、ボランティアの活躍が様々な領域へと広がる今日ですが、わたしたちの身近なところにも誰かの暮らしを支えるボランティアの姿があります。

今号では、そうした身近なボランティアのかたちのひとつとして、同行支援の活動を紹介します。

一回の活動時間、およそ7分。

ボランティアの上田さん(75歳)。
そのお役目は、放課後、小学校から近くの児童館まで小学1年生のだいちゃんを送りとどけること。その道のりは距離にして、300m。時間にして、7分。



週に一度、火曜日が上田さんの活動日。約束の日、約束の時間に教室の前へとやって来ます。



子どもの変化や成長を感じる喜び
出発前、授業で作ったリースを見せてくれました。だいちゃんからのクリスマスプレゼントに上田さんの顔もほころびます。



きちんと先生にお別れのあいさつ。
「さようなら～、行ってきます!!」

ひとつの暮らしを支える 7分間のボランティア



いつしか、自身の生きがいに。
この日も無事、児童館に到着。
お別れの時がきてしまいました。
上田さんは笑顔で「またね」と手を振り、
今日の活動を終えます。
また会える、次の火曜日を心待ちに
しながら。

「学校楽しかった?」
短い道りかわすさやかな会話。
それは上田さん自身の
楽しみでもあります。

「うん」

**たとえわずかな時でも、
子どもを預かる責任。**

やさしくも、しっかりと握られた手。
この活動に込める上田さんの責任感が
見て取れるようです。

ボランティア 上田 敏満さん (75歳)



ボランティアを始めたのは14年前になります。会社を定年退職した後、「ブラブラしてるのなんだから」とボランティアセンターを訪ねたのがはじまりでした。

もともと子ども好きなこともあり、子どもに関われることをできればと考えてはいましたが、まさかこんな活動があるとは思っていませんでした。初めてのボランティアに不安もありましたが、丁寧な仲介をしていただき、おかげでだいちゃん4人目になります。いくら苦労話もありますが、やっている

こと自体は特段難しいことではありません。体が健康で、時間があればどなたでもできることだと思います。

今となってはこの活動が私の生きがいのひとつ。いつもだいちゃんから元気をもらっています。14年前に踏み出した一歩のおかげで、今があると思うと感慨深いですね。なによりも元気に、80歳まで続けることが今の目標です!

依頼者 だいちゃんのお母さん



「息子さんには軽度の発達障がいがあるかもしれませんが。」就学前診断でそう聞かされて、支援が手厚い今の学校に通うため、住み慣れた地域から引っ越してきました。

入学後、学童保育を利用しようと考えました。引越してきたばかりだからこそ、学校の友達といっしょに過ごせる時間を大切にしたいと思ったからです。ですがそのとき、児童館まで自力で通えない子は誰かが連れていく必要があると知りました。

ひとりで行かせるには不安だけれど、越

して来て間もない私たちに頼れる人はいないし、仕事もある…そんなときにボランティアセンターを知り、上田さんを紹介していただきました。

おかげで今も仕事を続けられていますし、息子も楽しい毎日を過ごせています。

本当に、上田さんには感謝の言葉しかありません。

ボランティアコーディネーター 福井 真知子



ボランティアセンターにはだいちゃんのケースのような、暮らしに密着した手助けを求める相談もよく寄せられます。そうした“助けを求める人”と“力になりたい人”の橋渡しをすることは、私たちボランティアコーディネーターの仕事のひとつです。

ボランティア活動の原動力は支援する人の活動に対する共感ですから、その気持ちを尊重し、両者に納得いただけるかたちでおつなぎできるよう双方のお話を伺います。今回の場合は、お母さんの想いを上田

さんがしっかりと受けとめてくださり、ご自分の経験を活かした活動につながったと思います。

地域には様々な事情の困りごとがあり、それに応じて求められるボランティアのかたちも様々です。「自分にもなにかできないかな、できるかな。」と思われたら、ぜひご相談ください。あなたに合った活動が見つかるようお手伝いさせていただきます。

市内各ボランティアセンターのお問合せ先 “ボランティアをやってみよう!” や “ボランティアの力を借りたい” というご相談は、ぜひお住まいの地域のセンターまでお寄せください。

東灘区 841-6941 灘区 843-7040 中央区 232-1447 北区 593-9910 兵庫区 579-3304 長田区 574-2408 須磨区 731-8922 垂水区 709-1333 西区 929-0047 市社協 271-5306

私たちだって 地域の一員

企業・法人の
地域貢献活動



実技型料理教室で プロの味を地域にお届け！ ほっとかへんネット KOBE・北の取組み

「地域の課題をほっとかへん！」——

その想いのもとに社会福祉法人が手を取り
あい、各区でスタートした「社会福祉法人連絡協議会（通称：
ほっとかへんネット）」の。このたび、北区の「ほっとかへんネット
KOBE・北」が、地域のひとり暮らし高齢者が集まる給食会の
調理ボランティアを招いた料理教室を開催しました。
社会福祉法人がその人“財”を活かし、地域活動を応援するこ
の試み。各法人のシェフや管理栄養士など食のプロが講師役
として地域のために大活躍！



教わったレシピのひとつ
「かぶのコンポート」。ザ
クロシロップの甘みにカ
ブのジューシーさがマッ
チして、まるで果物のよ
うな仕上がりに。

「ご高齢の方のた
めに和食中心に
なりがちなけど、
洋風もイイネ」と
評判は上々。洋の
レシピが参加者
にとって良い刺
激となったよう
です。



腕を振るうシェフは、ANAクラウンプ
ラザホテルで料理長を務めた経歴を
もつお方。そのプロの技を、静かに
じっと見つめるみなさん。実技の場面
では「先生！これで大丈夫ですか？」
とアドバイスを求める様子も。



こちらは管理栄
養士さんが講師
役を務めた日。
黒豆を使用した
スイーツをつくり
ました。

“おいしい”笑顔が “嬉しい”笑顔に 三井住友銀行の取組み

市内の障がい者施設でつくられた商品のアンテナショップ「神戸ふれあい工房」。
その販路拡大にと、このたび三井住友銀行様がオフィス内での出張販売にご協力
くださいました！



神戸本部ビル内の休憩スペースの一角をお借りした販売会。
商品のラインナップは、この日のために考えた選りすぐり。
たくさんの方に足を運んでいただき、実際に商品を手にしてい
ただける機会となりました。



売上げは、作り手の
工賃として障がい者
のくらしを支えま
す。食べた人の“お
いしい”が作った人の
“嬉しい”になる。そ
うしてまちが笑顔で
満たされることを目
指して、ふれあい工
房はこれからも販
売に取り組みます！



社会とわたしを結ぶ、“母国の味” 神戸南京町 多国籍バルの挑戦

結婚や就労など様々な事情で母国を離れ、日本での暮らしを選ぶ人たち。そのなかには異国での暮らしに馴染めず閉じこもりがちとなり、悩みを抱えながらも頼れる人がいないという状況に陥ってしまう人も。

そんななか、昨夏南京町にオープンした「神戸アジア食堂バル SALA」では、アジア出身の女性たちをシェフとして雇用し、社会とのつながりを育むビジネスモデルを展開。母国自慢の味を活かした社会参加の仕組みづくりに挑戦しています。

アジア出身のお母さんたちが日替わりでシェフとして活躍！

SALA で働くシェフは、台湾やフィリピンなどみんなアジア出身のお母さんたちです。母国の味を振舞うことが雇用となり、また社会とのつながりを育むための機会となります。

はじまりは学生時代に

大学時代、フィールドワークを通じて在日外国人の暮らしぶりに触れたことが今の取組みの原点になります。

当時、世間からほとんど認知されていなかったこの課題。まずは知ってもらわなければならないのか…そう考えていたある日、お母さんたちが母国の味がつまったお弁当を持ち寄っておかずを交換したり、嬉しそうにレシピを教える姿を見てコレだ！と思いましたね。さっそく「みんなの国の自慢の料理を販売しよう！」と呼びかけ、学内イベントや地域の貸店舗を活用して販売活動に取組みました。

数々の経験から「共に歩む」大切さを学んだ

一生懸命働いて、お金をもらう。ひと仕事終わった後のみんなの活き活きとした表情は今でも覚えています。当時のそうした経験から、「支援する⇄される」ではない「共に歩む」関係性の大切さを学びました。このマインドは今でも SALA のベースとなっています。

その想いから、読み書きができない方にもステップアップしてもらえるよう事業拡大を考えていて、まずは人気メニュー「魯肉飯（ルーローハン）」のパウチ販売をはじめました。最初は調理補助やシール貼りなど比較的簡単な仕事をしながらコミュニケーションの訓練を積み、次第に接客のような責任のある役割へとシフトしていく。そして社会の一員として立派に踏み出せるように寄り添い、共に歩めるお店であり続けたいと思います。



黒田 尚子 さん (28歳)

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科卒。
学生時代から在日外国人への支援活動に携わり、SALA の原型にあたる活動もそのときに取組む。2017 年の夏、南京町に「神戸アジア食堂バル SALA」をオープン。同店の店長を務める。



久永 リザ さん (47歳)

フィリピン出身。日本人男性と結婚後 2 人の子をもつ。2003 年に来日し、当時幼かった子どもたちのために定住を決意。現在はお仕事のかたわら、「SALA」でシェフとして活躍中！

お母さんシェフにお話を伺いました

日本に住むと決めたとき、言葉の壁や収入を得られるかという不安はとても大きかったです。ですが、こうしてつながりをもつことで友達も増え、たくさんの人たちの支えのおかげで子どもたちも無事育て上げることができました。

SALA で働くことは暮らしの楽しみのひとつ。もともと料理好きなのもありまし、私の国の味をおいしいと言っていただけにとっても誇らしく感じますね。これからも料理の勉強を積んで、一層喜んでいただけるよう頑張りたいです！



母国フィリピンの味「ビーコールエクスプレス」。仕上げるにフィリピンの国旗を添えてできあがり！

神戸アジア食堂バル SALA

神戸市中央区元町通 2 丁目 3-16 食味館 1F [TEL] 078-599-9624
[営業時間] 11:30 ~ 15:00 / 17:30 ~ 22:00 ※日曜日はランチのみ営業

関西マスターズスポーツフェスティバル

シニアの皆さん、スポーツや文化活動で大いに楽しみ、仲間をつくりましょう！

開催種目

卓球、ゴルフ、バドミントン、弓道、剣道、ゲートボール、テニス、ソフトテニス、太極拳、グラウンド・ゴルフ、マラソン、家庭バレーボール、囲碁、将棋、ベタンク、ボウリング、ローンボウルズ

第31回こうべ長寿祭 参加者募集

開催期間 平成30年4月22日(日)~6月16日(土)

募集期間 平成30年3月1日(木)~

※締切日は種目ごとに異なります。詳細は応募要領をご覧ください

応募資格 神戸市在住の60歳以上(昭和34年4月1日以前に生まれた方)の方

応募要領 2月中旬頃から区役所等で配布(HPからもダウンロード可)

主催 神戸市・こうべ長寿祭推進協議会・(公財)こうべ市民福祉振興協会



【お問合せ】 (公財)こうべ市民福祉振興協会 こうべ長寿祭募集係 078-743-8092

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番1号 <http://www.shiawasenomura.org/>

美味しい！かわいい！福祉のお店

社会福祉法人みかり会

ベーカリーカフェ 森のおうち



2017年4月、社会福祉法人みかり会が運営するベーカリーカフェ「森のおうち」が垂水区南多聞台にオープン。障がい者の社会参加を支援する同店では、店舗1階のカフェスペースと2階の工房で、日々忙しく利用者さんが働いています。

同店の魅力のひとつは、陽光と木のぬくもりに満たされたくつろぎ空間。そんな雰囲気の中、ゆったりと焼きたてパンやカフェごはんが楽しめるという評判を集めています。



おいしいパンをお手ごろ価格で楽しめると口コミで広がり、今では開店前から行列ができるほどの人気ぶり。なかにはあっという間に売り切れてしまう品も。

お客さんとの交流も大切な経験という考えから、利用者さんは主にホールでの業務を担当。接客が楽しいという方にお話を伺ったところ、「お店の顔として覚えてもらえるよう、もっともっとお客さんと接していきたい!」と意気込みを語ってくれました。



“ほぼ”日替わりワンプレートランチ(1,000円/ドリンク・デザート付)。男性でも食べごたえ十分のボリュームは店長さんのこだわり。



店内で販売されているかわいらしい雑貨たち。こちらも工房の利用者さんがひとつひとつ手づくりで仕上げた品です。



第3土曜日には店舗を活用した親子向けイベントを開催。同法人の認定こども園スタッフが常駐し、親御さんからの相談にも応じています。 ※3歳まで

ベーカリーカフェ 森のおうち

〒655-0043 神戸市垂水区南多聞台4-4-6 TEL.078-787-2080 FAX.078-787-2081

【定休日】土日祝 ※第3土曜日のみOPEN 【駐車場】8台 @bakery_cafe_mori_no_ouchi



2月～3月の催し・イベントご案内



お知らせ 障がいのある方を理解し支援するための出前講座「障がいサポーター養成講座」のご紹介

障がいのある人もない人も共に等しく安全・安心に暮らしていけるよう、様々な障がいの特性について学べる出前講座を実施しています。

【対象】概ね10名以上の団体

【費用】無料

①② 神戸市社会福祉協議会 広報交流課

☎078-271-5306 ②078-271-5366

E-mail: volasen@with-kobe.or.jp

https://www.with-kobe.or.jp/detail/syogai_supporter/

講習 神戸市ファミリー・サポート・センター協力会員養成講習会

地域で子育ての応援をしていただけませんか？垂水区で実施しますので、お近くの方のご参加をお待ちしています。有償ボランティアです。

2月20日(火)、2月21日(水)

【場所】垂水区役所3階会議室

【対象】市内在住の健康で子どもが好きな方

【定員】30名 [事前受付/先着順 2月16日(金)締切]

【受講料】500円(マウスピース代 ※持参者無料)

①② 神戸市ファミリー・サポート・センター

☎078-335-6100

講座 市民福祉大学 講座・講演会案内

●コミュニティ・ビジネス入門講座

地域の課題や魅力をビジネスの視点で捉えて、新しい可能性を見つけよう。各地で広がるコミュニティ・ビジネスについて事例を交えて学べる入門講座です。

2月23日(金) 13:30～16:30

【場所】こうべ市民福祉交流センター

【対象】テーマに関心のある方

【定員】40名[事前受付/抽選制 2月9日(金)締切]

【参加費】500円

●地域福祉講演会「ご近所パワーで助け合い起こし」

ご近所での助け合いが地域をどのように豊かにするのか、助け合いのもつ力や手法をお話いただきます。

2月27日(火) 13:30～15:00

【場所】ピフレホール 大ホール

【対象】テーマに関心のある方

【定員】400名[事前受付/抽選制 1月30日(火)締切]

【参加費】無料

①② 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

☎078-271-5300 ②078-271-5365

E-mail: daigaku@with-kobe.or.jp

お知らせ こべっこランドからのご案内

●こべっこマルシェ

福祉事業所のお菓子や雑貨の販売会！子どもたちが事業所の方々と一緒に作ったオリジナル雑貨も販売していますのでぜひお越しください。

3月17日(土) 15:00～16:00

【場所】ハーバーランドセンタービル1階

●社会人ボランティア募集

子どもたちの活動のサポートやイベント運営の補助などにご協力いただける方を募集しています。

【要件】18歳以上の方 ※学生を除く

【定員】30名[先着順]

①② 神戸市総合児童センター

☎078-382-1300 ②078-351-0684

E-mail: mail@kobekko.or.jp

ご寄附をありがとうございます。

～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～

※寄付をいただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます

【善意銀行】平成29年6月～11月末 《敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています》

預託の部

金銭口座：みなと銀行従業員組合、岡本尚彦、瑞乃会、おおぞら陶芸ボランティアクラブ連合会、れきたん14、匿名8件

物品口座：株式会社みなと銀行、兵庫信用金庫、有限会社創和ハウジング、公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会

払出の部

金銭口座：神戸市児童養護施設連盟、一般社団法人神戸市老人クラブ連合会、社会福祉法人神戸市母子福祉たばな会、神戸六甲ポートライオンズクラブ

物品口座：特別養護老人ホーム ひよどりホーム、特別養護老人ホーム 恵風園、フェニックス月が丘ケアセンター、リハビリ型デイサービス げんこ、デイサービスセンター ハナの会、ドリーム&YUME作業所、いかり共同作業所、誕生日ありがとう運動本部、ウイメンズネット・こうべ、親切会、和光園、湊川寮、更生センター、アメニティホーム夢野、ヨハネ寮、絵手紙ボランティアグループ「つくし」、読み聞かせボランティアグループ「おはなしらびと」、長田在宅福祉センター、西在宅福祉センター、区社会福祉協議会

【社会福祉推進基金】平成29年12月 《敬称略》

寄付者：NPO法人暮らしの寺小屋ライフサイエンス 中村淳子
明治安田生命保険相互会社 神戸支社

一般社団法人生命保険協会兵庫県協会様より福祉巡回車両をご寄贈いただきました。

生命保険協会兵庫県協会は、従業員の方々の善意の募金で、毎年兵庫県下の福祉関係機関に車両や車いすを寄贈されています。

今年度は、本会を通して垂水区社会福祉協議会に車両をご寄贈いただきました。





早めの申込が合格の鍵！

●3月生募集●

2/23(金)申込締切 ※先着順

1～3月に受講検討、
次年度介護福祉士受験者

合格率85.7%

※平成28年度受講生

介護福祉士

実務者研修

例年明けより多数のお申込をいただいております。

お申込は今すぐ下記QRコード・お電話からどうぞ。

受講料89,990円 (税別・教材費込)

※ホームヘルパー2級/初任者研修資格保有の方の金額です。

実務者研修 開催教室

元町・西宮・明石・尼崎・加古川・姫路・川西・淡路島

三幸福祉カレッジ 神戸校

神戸市中央区明石町44 神戸御幸ビル4F

0120-515-350

(平日9:00～19:30/携帯可)



お申込・資料請求・教室場所は こちら <https://www.sanko-fukushi.com/branch/kob/>

プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：2月28日必着）
「きずな♥KOBÉ」第17号はいかがでしたか？
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方のなか
から抽選で、下記の賞品をプレゼント！

A

神戸アジア食堂バルSALA より

「台湾人シェフ 游さんの魯肉飯」3食セット

今号で紹介した神戸アジア食堂バルSALAより、台湾の家庭料理「魯肉飯（ルーローハン）」の真空冷凍パックをプレゼント。肉厚の椎茸と豚バラ肉をじっくりと煮込んだ深い味わいは、同店の台湾人シェフ游さん秘伝の味。お店で大人気の味をご家庭でもお楽しみいただけます！



3名様



B

社会福祉法人 上野丘さつき会より
「キヌヒカリ」2kg

社会福祉法人上野丘さつき会より「キヌヒカリ」の新米をプレゼント。北区淡河の地で丹精込めて育てられたこのお米は、施設の利用者さんたちが栽培から精米までをこだわり抜いた地産の品。絹のように白く、コシのある味わいをお楽しみください。



3名様



読者のお声

VOICE

～第16号に寄せて～

●NHKの「バリバラ」でセクシャルマイノリティの当事者の本音を放送していましたが、テレビの中の遠いことではなく、この神戸でも活動があったことを初めて知りました。 K.Yさん(44歳)

●LGBTの方にも開かれた結婚式場が神戸にあると知って、とても温かい街だと誇りに思いました。色んな課題を抱える人が、少しでも生活しやすくなる為のヒントを得られる冊子だと思います。 N.Kさん(38歳)

●近くに住んでいながら、大脇台にレストラン「ジロ・ピアンコII」があることを本誌の紹介で初めて知りました。近いうちに町内の老人会のみなさんを誘って是非行ってみたいなあ。 U.Yさん(75歳)

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢と希望のプレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずな・KOBÉ」プレゼント係へ

Eメール

kouhou@with-kobe.or.jp

トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

来て、見て、さわって体感しよう!!

ウェルキャブを常時10台取り揃え、カタログだけではわからない実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。

専任のスタッフがお客様一人ひとりのご要望にあったクルマ選びのお手伝いをいたします。

カスタマイズの相談も承ります。

お気軽にご来場ください。



10台
常時展示



〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 **トヨタハートフルプラザ神戸** TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399

営業時間 / 午前10:00～午後6:00
定休日 / 毎週月曜日および第2週火曜日（祝日の場合は翌日）

ハートフルプラザ神戸

検索

<http://toyota.jp/heartful/>

きずな♥KOBÉ 第17号 (2018年1月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306 FAX 078-271-5366
製作 株式会社高速オフセット



この広報誌は、ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動の補助を受けて発行しています。

「きずな♥KOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。
広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流課へ。

神戸市社協広報印刷物登録
平成29年度第9—2号 広報印刷物規格A—3類